



BOM for Windows Ver.8.0
朝監視設定ユーザーズマニュアル

免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証（商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません）もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関する責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

商標

本ユーザーズマニュアルに記載されている「BOM」はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。また、本文中の社名、製品名、サービス名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

なお、本文および図表中では、「TM」（Trademark）、「(R）」（Registered Trademark）は明記しておりません。

目次

本書について

表記について

使用方法

環境説明

第1章 朝監視とは

第2章 朝監視の仕組み

第3章 監視設定

1. "朝監視"設定のインポート

2. メール通知の設定

3. 朝監視通知時刻の設定

第4章 監視の開始

1. 監視開始

2. 送られてくるメッセージ

(1) 状態変化がない場合

(2) 状態変化がある場合

本書について

表記について

本書では、以下のとおり省略した記載を行う場合があります。

製品名、または省略しない表記	本書での記載（略称）
BOM for Windows Ver.8.0 SR2	BOM 8.0
BOM 8.0 マネージャー	BOM マネージャー

使用方法

本書には、BOM 8.0を使用した朝監視の考え方や詳細な情報と、設定の手順が記載されています。

- BOM 8.0のインストールに関しては'BOM for Windows Ver.8.0 インストールマニュアル'を参照してください。本書はインストールが正常終了した後の実際の使用方法について記述しています。
- このユーザーズマニュアルを使用するには、Microsoft Windowsオペレーティングシステムについての実践的な知識と、BOM 8.0の基本的な知識が必要です。
- 本書には外部のウェブサイトへの URL が記載されている場合があります。
PDF 形式のユーザーズマニュアルでは使用する PDF リーダーによってこの URL が自動的にリンク化される場合がありますが、URL に改行が含まれていると正しいリンク先に遷移できません。このような場合は URL をコピーし、ブラウザに貼り付けて表示してください。
- 本書に更新・訂正などが生じた際は、弊社ウェブサイト上で情報を公開しますので、あわせて参照してください。

環境説明

- 本書では、コンピューターの操作画面として、主にWindows Server 2022で取得した画像を使用しています。お使いの OS によって表示内容が若干異なる場合がありますが、適宜読み替えてください。

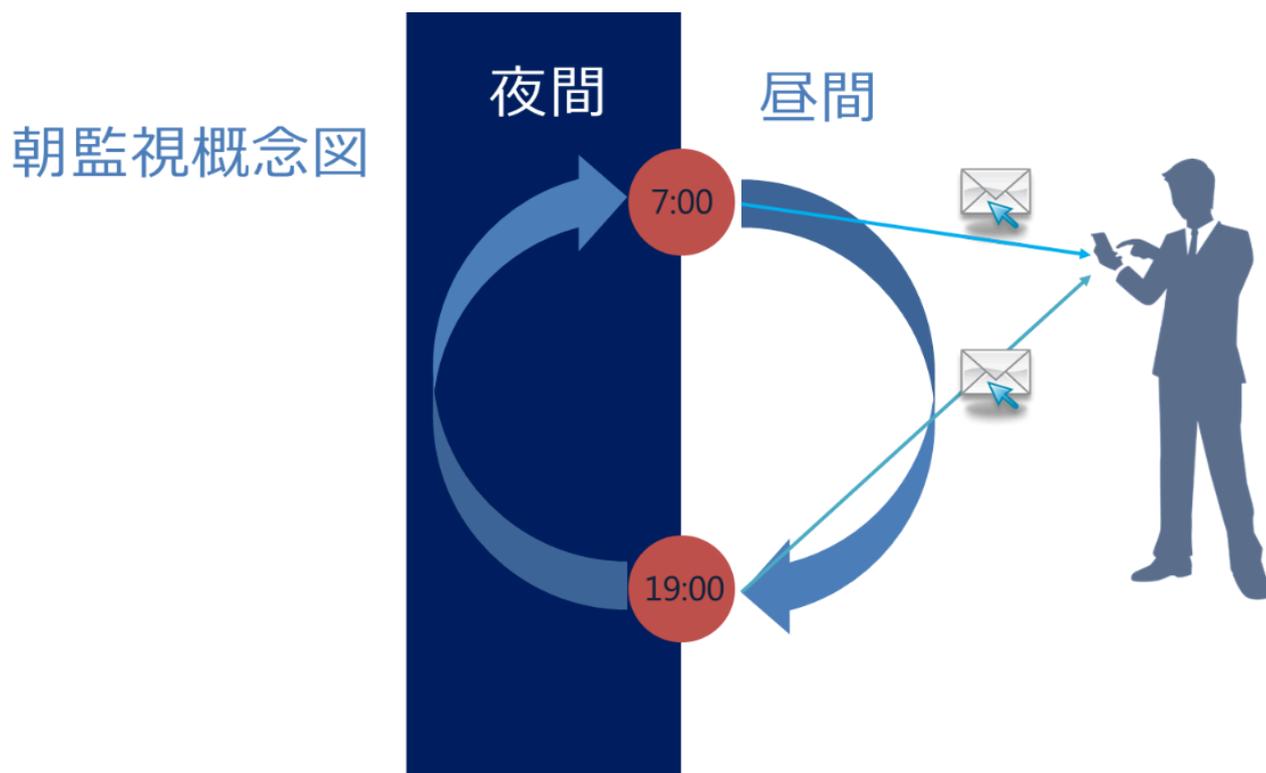
第1章 朝監視とは

従来の障害時の対処に加え、システム管理者は入社してシステムが正常稼働しているかどうかを確認することがあります。それを弊社では"朝監視"と呼んでいます。管理者は前日退社してから入社するまでの期間にサーバーがどのような状態にあったか、今の状態がどうであるかを把握する必要があります。

朝監視によってシステム管理者が、退社後のシステム状態の変化を事前に把握する事ができていれば、安心して業務に取り組む事ができます。

本朝監視を設定すると、定期的にシステムのリソース状態をメールで確認できるようになります。デフォルト設定では朝7時に夜間のシステム状態の変化をメールで知ることができるようになります。(変化がない場合にも通知されます)

また、朝7時から12時間後の夕刻19時には日中のシステム状態が通知されます。この仕組みによってシステム管理者は日に2回、システム状態をメールで知ることが可能となります。



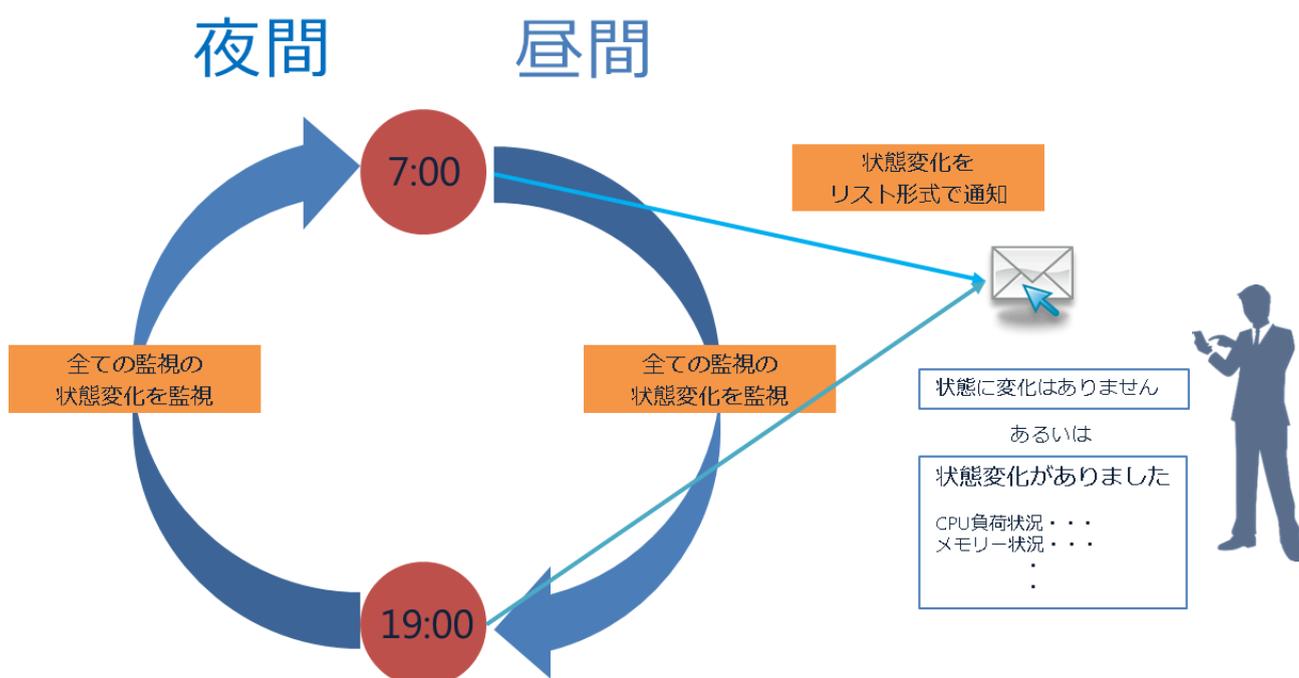
第2章 朝監視の仕組み

朝監視は、BOMのヒストリー監視と監視項目の定刻スケジュールを組み合わせて構成されています。

朝監視に使用する「朝監視」テンプレートは、朝夕定時にシステム状態の報告を行うための「朝監視」監視グループと、その「朝監視」監視グループで報告する対象となる監視グループ（「Windows システム監視 Basic」テンプレートと同等）から構成されており、このうち報告の対象となる監視グループや監視項目については、追加設定や削除などシステム監視用途に応じたカスタマイズが可能です。

「朝監視」監視グループに含まれる監視項目は、それ以外の監視項目の監視結果を検知および通知することができます。「朝監視」の監視項目さえあれば、他のどの監視項目と組み合わせても朝監視は可能ですので、現在の監視設定と組み合わせ使用することができます。

本書の例では、デフォルト設定の「Windows システム監視 Basic」を使用した朝監視を行います。



第3章 監視設定

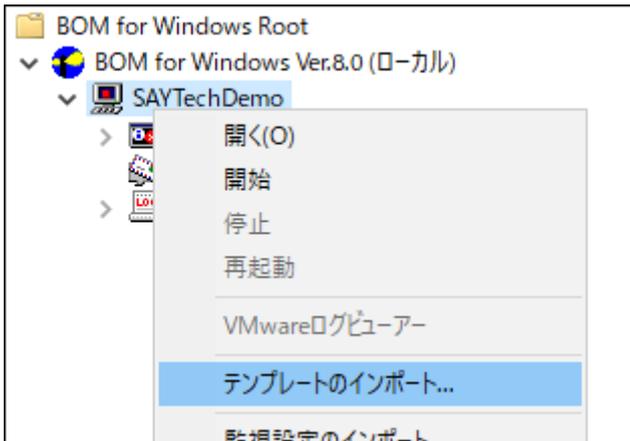
1. "朝監視"設定のインポート

以下の手順に沿って、"朝監視"テンプレートをBOM マネージャーにインポートします。

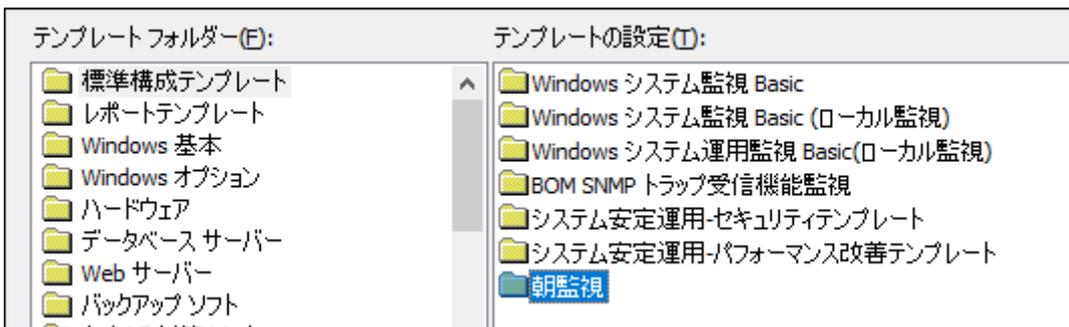
- 作業にあたっては管理者権限が必要です。管理者権限を持つアカウントにてログオンの上、作業を行ってください。
- スタートメニューより、"BOM for Windows Ver.8.0"の"BOM 8.0 マネージャー"を選択します。
 - BOM マネージャーにて"接続"をクリックし、監視コンピューターに接続します。



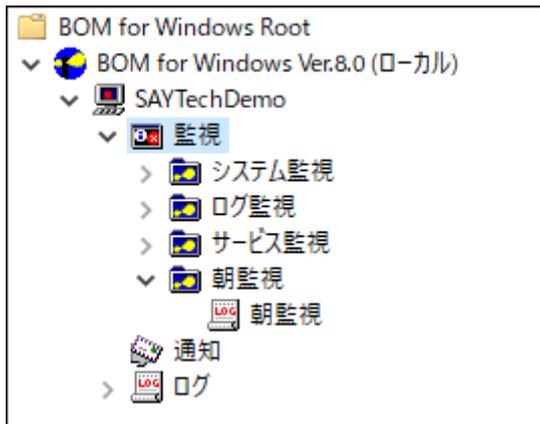
3. スコープペインより対象の監視インスタンスを右クリック →"テンプレートのインポート"を選択します。



4. "テンプレートのインポート"画面にて"標準構成テンプレート"→"朝監視"を選択し、[インポート]ボタンをクリックします。



5. スコープペインの"監視"ノードをクリックすると、"朝監視"の監視設定が読み込まれたことが確認できます。



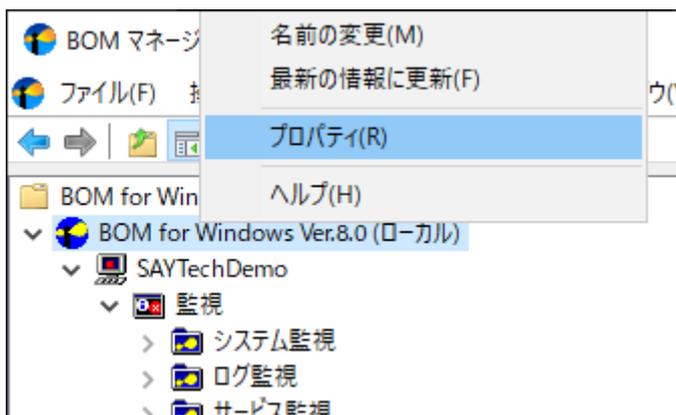
2. メール通知の設定

前項で読み込んだ監視設定にはメール通知があらかじめ設定されていますが、実際にメールを送信するためにはメールサーバーの設定と通知先の設定が必要です。

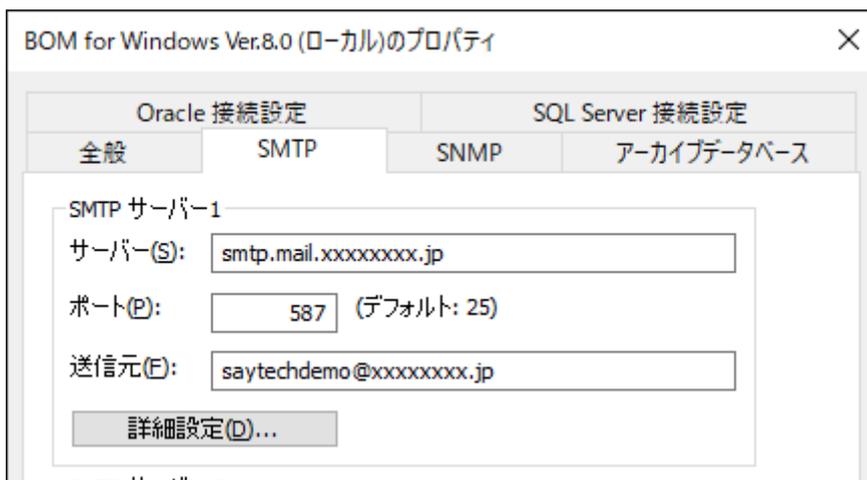
以下の手順に沿って、使用する環境のメールサーバーに応じて設定してください。

- 作業にあたっては管理者権限が必要となりますので、管理者権限を持つアカウントにてログオンの上、作業を行ってください。
- 以降の手順は必要な作業を抽出した概略手順です。詳細な手順については、'BOM for Windows Ver.8.0 ユーザーズマニュアル'を参照してください。

- スタートメニューより、"BOM for Windows Ver.8.0"の"BOM 8.0 マネージャー"を選択します。
- BOM マネージャーにて"接続"をクリックし、監視コンピューターに接続します。
- スコープペインより"BOM for Windows Ver.8.0 (ローカル)"を右クリックし、メニューから"プロパティ"を選択します。



- プロパティ画面では、「SMTP」タブを選択します。
- "SMTPサーバー1"に"サーバー"、"ポート"、"送信元"を設定します。



6. [詳細設定]ボタンをクリックし、認証の設定を行います。使用するメールサーバーに応じて設定してください。

SMTP 詳細設定

SMTP サーバー:

認証を使用(A)

ユーザー ID(U):

パスワード(P):

SMTP 認証(S)

POP before SMTP(B)

POP3 サーバー(O):

POP3 ポート(I): (デフォルト:110)

OAuth2.0(H)

接続の保護

なし(N)

SMTP Over SSL/TLS(V)

STARTTLS(R)

7. [OK]ボタンをクリックし、プロパティを閉じます。

8. "BOM for Windows Ver.8.0 (ローカル)" →"インスタンス名"→"監視"→"朝監視"→"朝監視"を選択し、リザルトページの"状況メール送信(0件)"をダブルクリックします。

名前	ID	有効
状況メール送信(0件)	ACT01	Yes
状況メール送信(複数件数)	ACT02	Yes

9. プロパティ画面では、「設定」タブを選択します。

10. 使用するSMTPサーバーを選択し、"宛先アドレス"を設定します。

The screenshot shows a configuration window with four tabs: "全般" (General), "実行条件" (Execution Conditions), "設定" (Settings), and "添付/埋め込みファイル" (Attachments/Embedded Files). The "設定" tab is active. Under the heading "SMTP サーバー選択" (SMTP Server Selection), there are two radio buttons: "SMTP サーバー 1(O)" (selected) and "SMTP サーバー 2(T)". Below these are two text input fields: "SMTP サーバー:" containing "smtp.mail.xxxxxxxx.jp" and "送信元:" containing "saytechdemo@xxxxxxx.jp". A section titled "宛先アドレス(D): (例: user1@mailserver,user2@mailserver,...)" (Destination Address (D): (Example: user1@mailserver,user2@mailserver,...)) contains a list box with the entry "saytechdemo2@xxxxxxx.jp".

11. [OK]ボタンをクリックし、プロパティを閉じます。

12. 上記 8.～11. と同様の手順で、"状況メール送信(複数件数)"も設定します。

3. 朝監視通知時刻の設定

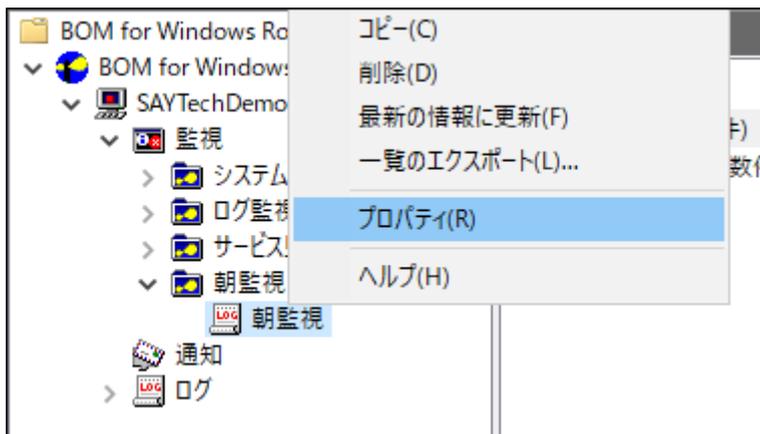
朝監視の通知時刻を設定します。

朝監視は12時間間隔で監視を行います。デフォルト設定では"開始時刻"は19:00（この場合、監視および通知は7:00と19:00に実行）に設定されていますが、例えば通知時刻を8:00に変更する場合は"指定時刻"の設定を20:00（この場合、監視および通知は8:00と20:00に実行）に変更する必要があります。

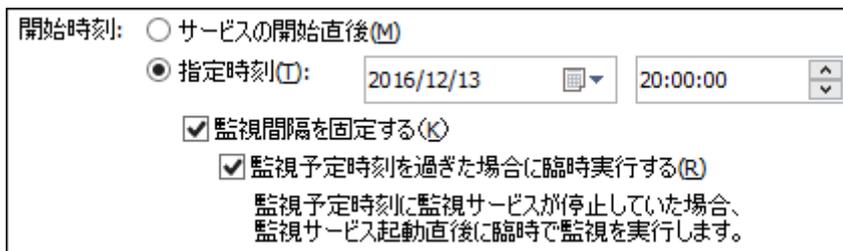
通知時刻の変更は以下の手順で行います。なおこの際、"間隔"などその他設定は変更しないでください。

※ 以降は通知時刻を8:00に変更する場合を例に説明しています。

1. スタートメニューより、"BOM for Windows Ver.8.0"の"BOM 8.0 マネージャー"を選択します。
2. BOM マネージャーにて"接続"をクリックし、監視コンピューターに接続します。
3. スコープペインより"インスタンス名"→"監視"→"朝監視"→"朝監視"を選択し、"朝監視"を右クリックメニューから"プロパティ"を選択します。



4. プロパティ画面の「全般」タブで指定時刻を20:00に設定し、[OK]ボタンをクリックします。この際、その他の設定は変更しないでください。



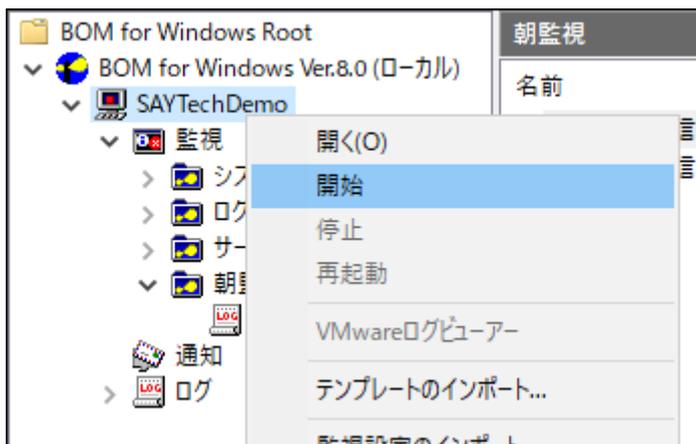
第4章 監視の開始

監視サービスを開始することで、監視を実行します。

この監視により、指定した時刻になるとシステムの状態変化が通知され、指定時刻から12時間経過するごとにその間のシステム状態変化が通知されます。一度この監視サービスを開始させると、サービスが停止されるまで12時間ごとに監視対象システムの状態変化を通知し続けます。

1. 監視開始

1. スタートメニューより、"BOM for Windows Ver.8.0"の"BOM 8.0 マネージャー"を選択します。
2. BOMマネージャーにて、"接続"をクリックし、監視コンピューターに接続します。
3. スcopeペインより"インスタンス名"右クリック→"開始"を選択すると、監視がスタートします。



2. 送られてくるメッセージ

(1) 状態変化がない場合

12時間毎の監視時に状態変化がない場合、状態変化がない旨のメール通知が管理者に届きます。

(2) 状態変化がある場合

12時間毎の監視時に状態変化がある場合、状態変化があった旨とどの監視項目でどんな変化があったかのリストがメールに添付されて管理者に届きます。

BOM for Windows Ver.8.0 朝監視設定ユーザズマニュアル

2022年4月3日 初版

2025年1月31日 改訂版

著者・発行者・発行

セイ・テクノロジーズ株式会社

バージョン 8.0.20.0

(C) 2022 SAY Technologies, Inc.